

科目名	デジタル演習 3							年度	2025
英語科目名	Digital Exercise 3							学期	後期
学科・学年	CG映像科 1 年次	必／選	必	時間数	60	単位数	2	種別※	実技
担当教員	亀井 恒之		教員の実務経験		有	実務経験の職種		有	
【科目の目的】 1. 撮影までのワークフロー（企画・構成・撮影スケジュール） 2. 撮影技術を理解する（カメラ、レンズ、照明） 3. 作品のプレゼンを行い、発表力をつける									
【科目の概要】 撮影を通して、カメラの仕組み、レンズ、構図、照明について理解する。グループで企画・撮影して、編集する。									
【到達目標】 A. カメラの理解ができている B. 企画・構成ができる C. 撮影・編集ができる D. プレゼンテーションができる									
【授業の注意点】 授業時間数の4分の3以上出席しない者は定期試験・評価課題を受験することができない 教員の指示がない限り、授業と関係のない携帯電話・スマートフォンの使用を認めない									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	カメラの高度な理解 ができている		カメラの理解ができ ている		カメラの理解ができ ていnai				
到達目標 B	目的目標に沿った企画・ 構成ができる		企画・構成ができる		企画・構成ができな い				
到達目標 C	目的目標に沿った撮 影・編集ができる		撮影・編集ができる		撮影・編集ができな い				
到達目標 D	訴求力の高いプレゼ ンテーションができ る		プレゼンテーション ができる		プレゼンテーション ができない				
到達目標 E									
【教科書】									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 試験・課題 80% 課題で評価する（提出の仕様や期限も評価の対象とする） 平常点 20% 授業参加態度によって評価を行う									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		デジタル演習 3			年度	2025
英語表記		Digital Exercise 3			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	カメラ	カメラの使い方・レンズについて理解する	1 カメラの理解	カメラの使い方・レンズについて理解する	2	
2	プリプロダクション	企画・構成	1 企画・構成	グループに分かれ、人物紹介映像の企画・構成を立てる	2	
3	Premiere	撮影・編集 1	1 インタビュー撮影	人物紹介映像のインタビュー撮影を行う	2	
4	Premiere	撮影・編集 2	1 インサート撮影	人物紹介映像のインタビュー撮影・インサート撮影を行う	2	
5	Premiere	撮影・編集 3	1 編集	人物紹介映像の編集を行う	2	
6	Premiere	撮影・編集 4	1 編集	人物紹介映像の編集を行う	2	
7	プレゼンテーション	プレゼンテーション	1 プレゼンテーション	プレゼンテーション発表を行う	2	
8	プリプロダクション	企画・構成	1 企画・構成	ドラマの台本をベースに、会話劇のカット割りをプランする	2	
9	プリプロダクション	企画・構成	1 撮影準備	撮影の準備、ロケ場所を選定する	2	
10	Premiere	撮影・編集 5	1 撮影 1	会話劇を撮影する①	2	
11	Premiere	撮影・編集 6	1 撮影 2	会話劇を撮影する②	2	
12	Premiere	撮影・編集 7	1 編集 1	会話劇を編集する③（カット編集）	2	
13	Premiere	撮影・編集 8	1 編集 2	会話劇を編集する④（カラー編集・音編集）	2	
14	プレゼンテーション	プレゼンテーション	1 プレゼンテーション	プレゼンテーション発表を行う	2	
15	プレゼンテーション	プレゼンテーション	1 プレゼンテーション	プレゼンテーション発表を行う	2	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等